

第13回 コアリション・コンファレンス

コアリションの転換点：

「利用」から「イノベーション・エコシステム」へ

【開催日時】

2025年 9/25 (木)

特別講演

10:00～12:00

展示ブース

12:00～17:00

【場所】 NanoTerasu/東北大学青葉山新キャンパス SRIS棟

参加費 無料 (Zoomにて同時配信予定)

【特別講演】

1. 「放射光のフロンティア開拓から社会システム構築へ：私の経験から展望するコアリションの可能性（仮）」
小松秀樹氏 (グローバル・ブレイン株式会社 インベストメントグループ エグゼクティブフェロー)

ブリヂストンにて常務執行役員などを歴任し、基礎研究から新事業戦略までを統括。早くから放射光に着目し、SPRING-8における産学連合体の立ち上げに尽力した。国の先進的プロジェクトにおいても、ImPACT研究による「しなやかポリマー」開発への参画や、内閣府SIP第3期「サーキュラーエコノミーシステムの構築」でサブプログラムディレクターを務めるなど、常に産業界のキーパーソンとして関与してきた。放射光を基軸としたオープンイノベーションと、持続可能な社会システム設計の第一人者として、本コアリションが目指すエコシステムの未来を展望する。

2. 「ナノスケールのスピン可視化から社会実装へ：データ駆動科学が拓く、放射光利用の新地平（仮）」
山崎裕一氏 (国立研究開発法人物質・材料研究機構 放射光イメージンググループリーダー)

物質・材料研究機構 (NIMS) グループリーダー、東北大学教授。東京大学にて博士 (工学) を取得後、KEK等を経て現職。専門は放射光計測による磁性材料の電子状態・磁気構造の解明。放射光専門家、材料開発者、データ科学者が三位一体で研究を推進する、学術界における共創モデルの先駆者。特に、データ科学を駆使した「計測インフォマティクス」という先進的手法は、社会実装を見据えた新たな研究開発の形を示す。その研究スタイルは、本コンファレンスが目指す「共創エコシステム」の姿を具体的に示すものである。

3. 「未来の共創を拓く基盤へ：コアリションビームラインの進化と将来構想（仮）」
中村哲也氏 (光科学イノベーションセンター ビームライン部長)

光科学イノベーションセンター (PhoSIC) ビームライン部長として、NanoTerasuのコアリションビームライン群を統括。世界最高峰の放射光施設SPRING-8で培った豊富な実績を基に、本ビームラインの設計・建設を指揮した。運用開始から1年、利用者の声とデータを基に、次世代のイノベーション創出を支えるための高度化計画を推進している。本講演では、メンバーの野心的なビジョンを実装し、共創エコシステムの物理的基盤となるビームラインの進化と未来構想を提示する。

【ネットワーキング(コアリションメンバーの情報交換会)】 NanoTerasu 実験ホール

- ・展示ブース： 地域パートナー、PhoSIC(各ビームライン担当者による説明)、分析会社ほか
- ・ショートプレゼンテーション
- ・ビームライン利用相談コーナー

主催：光科学イノベーションセンター(PhoSIC)